令和２年度　地理歴史科　日本史Ａ

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年前期
校内名称	日本史Ａ			ユニット数	3.0	必選別	選択必修
使用教科書	「日本史Ａ」（清水書院）						
副教材等	新詳日本史（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史は、現代に生きる人間がその問題意識を「過去」に問いかけていくものである。したがって学習においては、「疑問の心」や「好奇心」を持つことが大切である。そこで、できるだけたくさんの本を読んだり、発掘・発見などの報道に接したり、展覧会や史跡見学をするなど、興味や関心の幅を広げてほしい。そして、歴史を学ぶなかで、視野の広い、奥行きのある思考力と社会観を培ってもらいたい。
日々の学習では、授業を大切にしよう。ただし授業中にプリントを完成するだけでは力はつかない。まず、しっかりと教師の話を聞くこと。正確に書き残すことは大切だが、教師が話しているときに、済んだところの板書を写すのでは頭に残らない。教師の話を聞いて大切と思ったことは、アンダーラインを引いたり、欄外に書き留めたりしておこう。配布されたプリントは必ずノートに貼るか、ファイリングすること。授業はプリントを中心に教科書・史料集・図表を使って展開されるので、指示があるところを、日々の授業の「その場で」丁寧に確認しよう。毎日の学習事項を時代の流れの中に位置づけることが大切なので、折にふれ、教科書の以前の関連ページを読み直し、ストーリーとしてつかまえておくことが必要である。

２　学習の到達目標

日本の近現代の歴史の展開を世界史的視野に立って、政治、経済、社会、文化などの歴史を構成する要素を総合した幅広い見方で把握し、日本の文化や伝統の特色についての認識を深めるとともに、歴史的思考力、国際社会に生きる資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の近現代の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に学習に取り組んでいる。	日本の近現代の歴史における課題やそれと現在の国内外の諸課題との関連性について多面的･多角的に考察し、公正に判断し、それを適切に表現している。	文字史料や図表などの歴史資料を読み取り、事象の背景や関連性を読み取っている。	日本の近現代の歴史についての基本的な知識を身につけ、国際環境や地理的条件と関連付けて理解している。
評価方法	授業態度(積極的に参加しているかなど)	授業態度(質問に対する答えなど) 定期考査	授業態度(史料や図表を読み取っているか) 定期考査	授業での発言 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめる。
評価点の割合は、考査点９５％程度、平常点５％程度。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2年　前期中間考査まで	近代	○近代の日本と世界 ・国際環境の変化と幕藩体制の動揺 ・明治維新と近代国家の形成 ・立憲政体の成立と国際的地位の向上 ○大戦期の世界と日本 ・第一次世界大戦と日本	 ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a：受身ではなく、積極的な態度で授業に臨み、すすんで発言する。ノートをとる際に、ただ板書をそのまま写すのではなく、自分なりに工夫している。 b：明治維新から第一次世界大戦へ至る過程から課題を見出し、多面的・多角的に考察し、公正に判断し、適切に表現している。 c：事象の内容や背景を、歴史資料から読み取っている。 d：基本的な歴史用語を記憶し、それを他の事象と関連付けて、歴史の流れを理解している。	授業態度 定期考査
2年　前期期末考査まで	近代／現代	○大戦期の世界と日本 ・第二次世界大戦と日本 ○現代の世界と日本 ・戦後政治の動向と国際社会 ・経済の発展と国民生活の変化 ・現代の日本と世界	 ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a：受身ではなく、積極的な態度で授業に臨み、すすんで発言する。ノートをとる際に、ただ板書をそのまま写すのではなく、自分なりに工夫している。 b：第二次世界大戦から現在へ至る過程から課題を見出し、また現在の国内外の諸課題との関連性について多面的・多角的に考察し、公正に判断し、適切に表現している。 c：事象の内容や背景を、歴史資料から読み取っている。 d：基本的な歴史用語を記憶し、それを他の事象と関連付けて、歴史の流れを理解している。	授業態度 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○を付けている。